

# 患者及び家族への精神保健福祉士としての働きかけ

－暴力で家族を支配した長期ひきこもりの統合失調症患者への支援－

○猪口航太<sup>1)</sup> 林美里<sup>1)</sup> 細田美保<sup>1)</sup> 上家淑江<sup>2)</sup> 羽鳥純史<sup>3)</sup> 太田健介<sup>3)</sup>

1) 精神保健福祉士 2) 看護師 3) 医師

医療法人耕仁会札幌太田病院 地域福祉課

# はじめに

統合失調症患者が安定した地域生活を送るためには、

病識の獲得

外来通院・服薬の継続

**現実的な目標・希望を持つ**

**生活環境調整（家族関係調整含む）**

が必要と考える

# 症例紹介

A氏 30代 男性 統合失調症  
2人同胞第1子として出生

高校中退後より自宅にひきこもり、幻覚妄想が出現  
父母への暴力、燃やした蠟燭を机に垂らす奇異行動を認めた

X-19年、X-10年に当院に入院

退院後は治療を中断し、ひきこもりとなる

X-2年頃より、幻聴や妄想が再燃し、空笑や奇声、暴力を認め、徐々に入浴や着替えができない状態となる

X年6月、幻覚妄想、精神運動興奮が著しく、当院に入院

# 治療経過

多職種の介入

薬物療法、精神療法、内観療法  
認知行動療法、作業療法



精神症状の改善、病識の獲得  
内省の深まり、社会技能の獲得

# 精神保健福祉士として

- A氏、父母との定期的な面談
- 生活環境調整
- 家族会の提供

# A氏への働きかけ

猜疑心が強く、周囲に対して過敏な状態  
面談環境に配慮し、信頼関係構築に努める

当初は病識及び現実検討能力は乏しい状態

「自分か世の中の制度を使うのは申し訳ない」  
「同世代と比べて自分はクズだ」と自信を喪失

A氏の気持ちを受容し、A氏自身の強みを支持する

退院後の生活について具体的に話し合う

→現実的な目標の設定  
生活環境調整を実施



# 父母への働きかけ

長年のひきこもり、暴力や金銭の無心

→ A 氏の入院後は、消極的な関わり

「会話にならない」「注意してもすぐに怒るから疲れた」

「一緒に生活することはできない」

→ A 氏の退院や考えに対して否定的、拒否的

父母の気持ちを受容した上で、A氏の自立に向けて、A氏の  
良いところ、支援が必要なところを共に考える

家族会への参加を通して、辛かった体験の共有、疾患に対す  
る理解を深める

→徐々にA氏を受け入れる  
退院支援に協力的となる

A氏はX + 1年6月に退院  
自立に向けて共同住宅での生活を開始  
外来通院と服薬、デイケア通所の継続

父母はA氏に対する支援を継続  
家族会への参加も継続

# 考察

入院当初、A氏は自信を喪失している一方で、

「家を出て独り立ちしたい気持ちはある」

「人に迷惑はかけたくない」

「早く退院したいのは仕事に就きたい気持ちがあるから」

との願望・希望

「夢や希望を持つ事は生きるための大きなエネルギーになる」

「希望を持つためには自分の強みに気付くことが大切」

(荘村ら 2018)

A氏の謙虚な姿勢、「独り立ちしたい」「働きたい」との願望  
→A氏が「自分の強み（ストレングス）」と気付けるよう面談

※ストレングスとは

性格や技能、関心・願望、環境等、その人の強いところ、恵まれているところ

(PeacePortalーみんなの福祉相談所 2016)

A氏が自分の強みを理解する



自立に向けて、現実的な目標や希望を持つ



共同住宅で生活すること、デイケア通所することを望む



退院後、自立に向けて生活を開始する

父母は長年の経過から、A氏との関係に葛藤していた

「家族への援助的姿勢は、不安の高まっている家族に対して  
患者の治療への協力を要請することと同様に重要」

「家族の困難に対し理解とねぎらいを提供することが重要」

(平田ら 2010)

父母の気持ちを十分に受容する、これまでの苦勞をねぎらう



A氏の強みや将来について共に考える

辛い心情や疾患理解を深める場として家族会提供する



「病気によって本人も辛いと分かった」「不安もあるけれど協力したい」

A氏を受け入れ、退院支援に協力的となる



A氏の退院後も、支援を継続

家族会の参加も継続



地域で自立した生活を維持する上で、自身の強みに気づき現実的な目標を持つこと、家族と良好な関係を築くことが重要と考える。

精神保健福祉士として、今後もこれらのことを意識して退院支援に努めたい。

# 参考文献

- ・“ストレンジスとは” PeacePortalーみんなの福祉相談所  
fukushi. Info/?P=2815 (2016年4月27日)
- ・荘村明彦著 水野雅文等編 『リカバリーのためのワークブックー回復を目指す精神科サポートガイド』 中央法規出版株式会社 (2018年6月30日)
- ・平田直著 伊勢田堯等編 『専門医のための精神科臨床リュミューール17ー精神科治療における家族支援』 中山書店 (2010年7月30日)

ご清聴ありがとうございました